

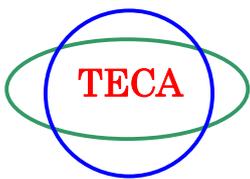
TECA NEWS

71



日光白根山

2024年8月発行



NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会

1	新理事長就任のご挨拶	2
	理事長 齊藤 好広	
2	よろしくお願いします ～新理事紹介～	3
	理事 伊藤 延子	
	理事 勝沼 孝弘	
	理事 高橋 伸拓	
3	脱炭素化へ向けてのアプローチ	5
	会員 藤本 勉	
4	企業を取り巻く脱炭素経営（2）	8
	理事長 齊藤 好広	
5	『鬼怒川クロコムラサキ愛護会』の自然観察会	10
	副理事長 今井 信行	
6	会員から書籍の紹介	11
	理事 安場 博	
7	環境カウンセラー（事業部門）受験体験記	12
	会員 赤池 宏美	
8	塩山房男前理事長を悼んで	13
	会員 中荃 元一	
9	お知らせ	14



NPO法人栃木県環境カウンセラー協会は「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトに賛同し応援します。

新理事長就任のご挨拶

理事長 齊藤 好広

平素から当法人の活動にご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。5月22日にお亡くなりになりました塩山房男前理事長の後任として、6月8日の第23回定時株主総会役員改選をもちまして理事長に就任いたしました。

当協会は設立して24年を迎えます。TECAの推進理念は、SDGsの17番目「学びと体験を通じた地域のパートナーシップです。」企業や市民団体が取り組まれる環境政策や保全活動、また、環境教育を支援すると共に、行政や各団体と連携を図り向上に寄与することを目的としています。今日人間社会による環境負荷が、地球や地域の環境に影響を及ぼしていることを理解し、守っていくために行動していく人材を育てることが環境教育としての大きな目標であり役割と思います。引き続き、これまで同様に格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、新体制のもと、取り組んで参りますので、併せて宜しくお願い申し上げます。

さて近年、脱炭素化を取り巻く世界的な動向は、とりわけパリ協定以降、2050年にIPCC1.5℃目標に抑えるカーボンニュートラル行動です。2023年の世界の平均気温は、産業革命前と同程度とされる平均より約1.45度高く、日本の平均気温も過去最高の1.29度上回りました。今や温暖化は様々な気候変動が要因して、毎年甚大な災害

をもたらしています。

産業界では気候関連財務情報開示など経営へのリスクを把握する動きがあり、また疾病、死亡のリスク、食料生産の減少による栄養不足といった人間の健康にも大きな影響を引き起こしかねません。

栃木県には、多くの産業と豊かな森里山川があります。地球の環境容量と資源には限りがあり、人間を含めたすべての生物が、バランスを取りながら分かち合う事が重要です。

皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



PROFILE

【経歴】

- ・2017年まで都内の製薬会社に勤務
- ・2001年全事業所にISO14001認証取得に着手
- ・2013年J-クレジット、排出量取引実践モデルに着手
- ・2014年環境省「カーボンニュートラル認証制度試行事業に着手」
- ・H26年度地球温暖化防止活動環境大臣賞表彰（対策普及部門 個人）
- ・H28年度地球温暖化防止活動環境大臣賞表彰（対策普及部門 団体）

【主な認定資格】

- ・日本経営士会所属 環境経営士/SDGs 経営士
- ・脱炭素(炭素会計)アドバイザー(環境省認定制度)
- ・生涯学習コーディネーター(文科省)

よろしくお願ひします

新理事紹介

理事 伊藤 延子



この度、当協会の新理事に就任いたしました伊藤です。よろしくお願ひします。

私は生協の環境活動に関わり、小学校への出前講座などを行ってきました。その後2004年に環境カウンセラー（市民部門）と消費生活アドバイザーの資格を取得しました。そして先に消費生活アドバイザーの団体に加入したところ、同団体会員のK氏から環境カウンセラーの資格を持っているなら、と当協会を紹介され加えました。

一主婦で、これまで環境関連の仕事に就いたことが無く、皆さんの仕事内容や協会での活動を見聞きするたび、なかなか話についていけませんでしたが、田んぼの生き物調査が始まったときに、少し経験があったので微力ながらお手伝いできるかなと思ひ参加しました。これは現在も続けていますが、先輩方のような本格的な知識が無く毎回悪戦苦闘しております。

また、栃木県地球温暖化防止活動推進員になって活動をしたことをきっかけに県の環境学習指導者に登録をした所、県南高等看護学校で環境の授業をしてくれないかと声がかかり廃校時まで授業をしまし

た。その際、塩谷看護専門学校からお声がかかり、現在「環境論」（1年生・前期）の授業を受け持っています。

TECAの活動にはこれまであまり参加しておらず、最近になりCMSCの活動に参加し始めたばかりです。このためよくわかっていないことが多く、会員の皆様にはご迷惑をおかけすると思ひますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

理事 勝沼 孝弘



この度は、栃木県環境カウンセラー協会の理事を拝命しました勝沼孝弘です。

私は栃木県南にある足利市で中小企業診断士業を生業とし、企業再生やエコアクション21の審査員をやらせて頂いております。

企業再生と環境とは関りが少ないように思えますが、エコアクション21に代表される環境管理システムの導入は、省エネルギー化や生産性向上に繋がる新しい視点を企業に提供することができます。

協会理事として具体的な活動は、元理事の曾我部二郎先生が携われていた栃木県環境カウンセラー協会のホームページ運営を引き継ぎます。皆様からの情報提供を迅速にホームページへ掲載を心掛けます

が、多少、遅れることもあるかもしれませんが、頑張りますのでお許しください。

まだまだ、環境分野では若輩者です。諸先輩方が築き上げた知識・経験・他機関等の繋がりを大切に、精進して参ります。ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

理事 高橋 伸拓



この度、栃木県環境カウンセラー協会の理事に就任いたしました。私は、環境コンサルタント会社の平成理研株式会社に在籍し、動物調査を主として、大気質や騒音振動、水質といった生活環境の調査から行政計画の策定などを担当しています。

一方、職務を外れると「うじいえ自然に親しむ会」の会長として、鬼怒川中流域の礫河原で絶滅

危惧種のシルビアシジミやカワラノギクなどの保全活動をさくら市民・宇都宮市民をはじめとして協働で行っており、当協会でもその活動への支援を行うこととなりました。また、日本野鳥の会栃木県支部及び国土交通省下館河川事務所と協力したコアジサシの保全活動や、近年大きな問題となっているクビアカツヤカミキリやナラ枯れへの対応等、積極的な活動を展開しています。さらには、喜連川社会復帰促進センターのSDGsの取り組み（シルビアシジミの食草ミヤコグサ、カワラノギクの栽培、ニホンミツバチの養蜂を通じた教育）や、各種観察会・研修会等への対応等、社会的要請は多岐にわたってきています。このような情勢下、当協会での行政・事業者・市民（市民団体）との連携による環境保全へのスタンスが極めて重要であり、今後の進むべき方向と考えています。私も当協会の理事として、皆様のご意見をいただきながら、着実に前に進んでいきたいと思っております。会員の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

役員選任のお知らせ

2024年6月11日の第23回通常総会において、下記のとおり役員が選任されましたのでお知らせします。任期は2024年度～2025年度になります。

理事

齊藤 好広（さいとう よしひろ）	理事長/交流推進部門
今井 信行（いまい のぶゆき）	副理事長/交流推進部門
野沢 定雄（のざわ さだお）	副理事長/会計担当/交流推進部門/技術・MG部門
佐々木 英二（ささき えいじ）	専務理事/広報誌担当/自然保全活動部門/技術・MG部門
安場 博（やすば ひろし）	法人関係事務担当
堀 誠（ほり まこと）	事務管理部門
秋場 泉介（あきば せんすけ）	交流推進部門/技術・MG部門
伊藤 延子（いとう のぶこ）	自然保全活動部門
勝沼孝弘（かつぬま たかひろ）	HP管理担当
高橋 伸拓（たかはし のぶひろ）	自然保全活動部門

監事

岡崎 浩司（おかざき こうじ）
岡田 正幸（おかだ まさゆき）

脱炭素化へ向けてのアプローチ

会員 藤本 勉

■はじめに

私たちの生活では、猛暑や大雨などの異常気象が身近に起こるようになり、地球温暖化に対する危機感を感じるようになりました。

政府は2020年10月に、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

そのことを受け、自治体や企業でも、脱炭素化への動きが活発になってきました。本稿では、主に中小企業が取り組む、脱炭素化へ向けてのアプローチについて考察します。

■情報収集…栃木県HP「2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組」

栃木県では、2020年12月に「2050年までにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）実現を目指す」ことを宣言しました。その後、気候変動対策課が中心になって、「ロードマップの作成」や、「カーボンニュートラル実現に向けた取組」等を公開しています。企業の取り組みについて、

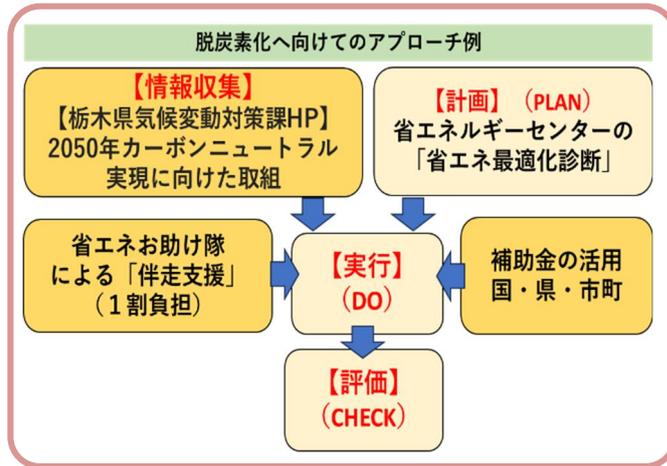


図1 脱炭素化へ向けてのアプローチ例

参考になる情報が、多く掲載されていますので、是非、閲覧することをお薦めします。



図2 栃木県の気候変動対策 (出典：栃木県 HP)



図3 栃木県カーボンニュートラルへ向けたロードマップ (出典：栃木県 HP)

まずは、全体感をつかむために、「ロードマップ」を確認しましょう。栃木県では、基準年度の2013年の1,946万トンCO₂に対して、2018年は、10・4%減の1,744万トンCO₂でした。これを、2030年には、50%減の973万トンCO₂にして、2050年には実質ゼロにしよう」と計画しています。

企業（事業者）向けとして「脱炭素ガイドブック」が作成されています。これは、省エネ、再エネ、未利用熱の区分に対して、初級（あまりお金をかけず、すぐにできる）、中級（多少お金はかかるが、コストは削減）、上級（多額の投資が必要だが、大幅にコスト削減）の事例を28件掲載されています。CO₂削減量や投資回収年数などが記載されているので、大変参考になります。



	省エネ	再エネ	未利用熱
初級 あまりお金をかけず すぐにできる	・不要な照明の消灯 ・ボイラー設定蒸気圧の低減 など	・小売電気事業者の変更 ・電力証書の購入 など	・ボイラー蒸気のドレン回収 など
中級 多少お金はかかるが コストは削減	・人感センサーの設置 ・ポンプ等へのインバーター導入 など	・初期費用ゼロでの太陽光発電設備の導入（PPA・リースモデル） など	・エアコンプレッサー排気を他工程で使用 など
上級 多額の投資が必要だが 大幅にコストは削減	・エアコンの高効率機への更新 ・LED灯への更新 など	・自社で太陽光発電設備の設置 など	・排熱回収型ヒートポンプで廃熱回収 など

図4 栃木県が作成した「脱炭素ガイドブック」の概要（出典：栃木県 HP）

令和6年度 省エネ支援サービス
カーボンニュートラルへの第一歩
省エネ最適化診断

省エネでコスト削減 温暖化防止・SDGsへの貢献 公的補助金等との連携

申込 → 請求書送付 → 入金 → 請求書送付 → 現地診断 → 報告書提出 → 診断結果説明会

メニュー	年間エネルギー目安 (原油換算)	診断費用 (税込)
A診断	300kL未満	10,670円
B診断	300kL以上1,500kL未満	16,940円
大規模診断	1,500kL以上	23,760円

図5 省エネ最適化診断の概要（出典：省エネルギーセンターHP）

■計画(PLAN)：省エネルギーセンターの「省エネ最適化診断」情報収集して、さて、なにかやればいいのかと悩まれた場合、一般社団法人省エネルギーセンターの「最適化診断」の受診をお勧めします。これは、経済産業省の補助事業で行なわれていますので、格安の費用で受診できます。報告書では、お金をかけない（または少額の経費）「運用改善」、お金をかける「投資改善」にわけ、10件以内の提案が行われます。計算シートが添付されますので、省エネ計算を確認でき、好評です。

■実行（DO）：「省エネお助け隊」の活用

省エネルギーセンターの「省エネ最適化診断」の後は、提案を自社で吟味して、優先順を決めて実行することになります。その時、「省エネお助け隊」の「省エネ伴走支援」を受けて、専門家のアドバイスを受けることが可能です。この制度も経済産業省の補助事業ですので、費用総額の1割と安価に受けることができます。

■実行（DO）：補助金の活用

実行の段階で、多くの方が悩まれるのが、資金調達です。ここで勧めは、省エネや再エネの補助金の活用で、一番よく使われるのが、経済産業省の省エネ補助金（執行団体：環境共創イニシアチブ）です。この補助金は、省エネ性能の高いユーティリティ設備（10設備）と生産設備（5設備）が対象で、設備費の1/3以内が補助されます。栃木県でも補助金が整備されています。太陽光発電・蓄電池の補助金と省エネ（照明、空調、工業炉、ボイラー等）の補助金があります。手続きが簡便な上、担当の気候変動対策課に問い合わせると親切に説明してくれるので、お薦めです。



図6 省エネお助け隊「伴走支援」（出典：省エネお助け隊 HP）

- ◆ユーティリティ設備
 - ①高効率空調
 - ②産業ヒートポンプ
 - ③業務用給湯器
 - ④高効率ボイラ
 - ⑤高効率コージェネレーション
 - ⑥低炭素工業炉
 - ⑦変圧器
 - ⑧冷凍冷蔵設備
 - ⑨産業用モータ（コンプレッサ等）
 - ⑩制御機能付きLED照明器具
- ◆生産設備
 - ⑪工作機械
 - ⑫プラスチック加工機械
 - ⑬プレス機械
 - ⑭印刷機械
 - ⑮ダイカストマシン

図7 省エネ補助金対象設備
（出典：環境共創イニシアチブ HP）

■終わりに

2050年、カーボンニュートラルの実現は、大変ハードルが高いと思います。しかし、地球温暖化の厳しい状況を考えると、国民ひとりひとりが出来る事を実行していく必要があると思います。

私は、省エネルギーセンターのエネルギー使用合理化専門員として、また、とちぎ省エネお助け隊の外部専門家として、主に、中小企業向けの省エネ診断・省エネ支援をしています。その経験から、本稿の脱炭素化へのアプローチを考察しました。

私は、中小企業向けの省エネ推進の分野で、これからも精一杯活動をしていきたいと思います。

企業を取り巻く脱炭素経営 (2)

理事長 齊藤 好広

テクアニュース70号で「企業に求められる脱炭素経営」の動向について掲載しました。本号ではCO₂の算定と削減の考え方についてご紹介します。

■CO₂排出量の計算方法

CO₂排出量の計算は、よくカロリー計算に例えられます。カロリーは重量と係数のかけ合わせで算出します。弁当を例に考えてみます。カロリー計算は、日本では日本食品標準成分表の係数を使います。例えば、米(精白米)のご飯の係数が100g(グラム)当たり170kcal(キロカロリー)の場合、米200gのカロリーは、340kcalと計算できます。入っているおかずとして鶏もも肉、ごぼう、鶏卵も同様の考え方で計算できます。

CO₂排出量は「CO₂排出原単位」という係数を使って計算します。米のCO₂排出原単位(11米が作られる過程で排出されるCO₂量)は、1g当たり1.6g-CO₂とされています。ここで、「g-CO₂」がCO₂排出量を示す単位です。従って、200gの米は320g-CO₂と計算されます。その他の食材についても同様です。

また、弁当の容器についてもCO₂排出量を計算できるため、排出量は合計で635g-CO₂となります。

この例ではgで計算しましたが、企業が排出している温室効果ガスはt(トン)単位で計算されることがほとんどで、「t-CO₂」という単位が使われています。

さらに、国際基準では、より細かな前提の一致が求められます。例えば、米を収穫した際か、炊いた後かで、配送や炊飯器の使用での排出があるため、米に関連するトータルでのCO₂排出量も変わってきます。そのため、「ライフサイクル」のどの段階を考慮しているかという判断が重要になります。「ライフサイクル」は、商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでの一連の段階を指します。これは、サプライチェーン算定のスコープ1・2そしてスコープ3基準では、自社を介したサプライチェーンの上流と下流に分類しており、カテゴリ①②⑧が上流、カテゴリ⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮が下流になります。

素材の重量に、排出係数(単位当たりのおよそのCO₂排出量)を乗じて計算

【CO₂計算】

食材など	重量	係数	CO ₂
米	200g	1.6g-CO ₂ /g	320 g-CO ₂
鶏もも肉	100g	1.2g-CO ₂ /g	120g-CO ₂
ごぼう	50g	0.2g-CO ₂ /g	10g-CO ₂
鶏卵	50g	1.1g-CO ₂ /g	55g-CO ₂
容器	50g	2.6g-CO ₂ /g	130g-CO ₂
合計			635g-CO ₂

【カロリー計算】

食材など	重量	係数	カロリー
米	200g	170kcal/100g	340kcal
鶏もも肉	100g	200kcal/100g	200kcal
ごぼう	50g	70kcal/100g	35kcal
鶏卵	50g	150kcal/100g	75kcal
合計			650kcal

■脱炭素をダイエットに例える

脱炭素は、ダイエットに例えることができます。ダイエットでは、まず体重を把握します。それに相当するのが、炭素排出量計算の国際規格「GHGプロトコル」です。

続いて、何 kg (キログラム) までダイエットするのかという目標を設定します。それに相当するのが「カーボンニュートラル」や「SBT (Science Based Target)」です。ただし、ダイエットするにも、身体に過度な負担をかけたり、規格外の薬に頼ったりすることはよくありません。

前号でも掲載しましたが、企業は、サプライチェーンのスコープ1・2・3の排出量を計測し見える化することで、ホットスポットが特定され、削減できそうな箇所を見つけ出すことで目標設定ができます。経営とのバランスを取りながら、国際的に認められた削減手段で無理なく取り組む必要があります。

最後に、進捗状況を把握して自己管理したり、誰かに報告したりするということがあります。脱炭素の進捗状況を開示する方法としては、有価証券報告書やサステナビリティレポートなどの形式で開示する方法、CDPなどが行う調査に回答することで情報開示する方法があります。自己管理ができていないこと、言い換えると客観的な数値をもって定期的にGHG削減の進捗状況が公開されていることが企業としての評価につながります。



1 体重を把握すること

「GHGプロトコル」といわれる国際規格で地球環境へのダメージを測定



2 ダイエット目標を持つこと

「カーボンニュートラル」「SBT」という、国際社会が求める水準で目標を設定



3 進捗を報告すること

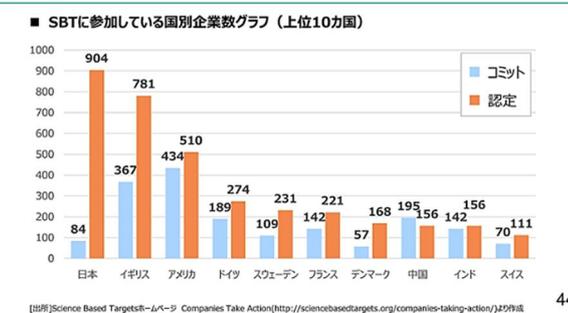
取り組みを経営に統合し、進捗状況を広く開示

■企業に求められる削減目標と国際基準

2015年のパリ協定で、IPCC第5次評価報告書をベースとし、世界共通の長期目標として「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすること」が合意されました。

SBTとは、このような世界共通の目標と同水準、すなわち「パリ協定が求める科学的根拠(PCC)に基づいた目標のことです。SBTイニシアチブは、企業が掲げた目標の妥当性確認の審査を行い、目標の認定を与えています。このイニシアチブでは、サプライヤーの立場に留まらず、中小企業向けの独自のガイドラインも設定されており、中小企業向けSBT認定支援補助金を交付している自治体もあります。2024年3月1日現在で、SBT国際的イニシアチブの日本の認定取得企業は904社(うち中小企業704社)と世界一位にあります。

SBTに参加している国別企業数 2024年3月1日現在



投資家や取引先の企業は、今日、企業が開示する気候関連のリスクや機会の取り組みの義務化、脱炭素に向けた目標設定を判断の指標とする動きが広がっています。

平石地区の柳田大橋近くの鬼怒川で宇都宮市指定天然記念物であるクロコムラサキの保護活動に取り組んでいる『鬼怒川クロコムラサキ愛護会』は平成21年(2009年)5月15日に設立しましたので今年で設立15年になります。この間、クロコムラサキ生息地の保全(草刈り等)やクロコムラサキなどの昆虫や植物の自然観察会を続けてきました。設立15年目にあたる今年は6月1日に自然観察会を実施し子供達や保護者、主催者など約90名の方に参加いただきました。

今年は気温が高い日が続いたためか例年より蝶などの昆虫の数が少なかったように思われました。参加いただいた方々からは“子供達に良い経験となった”“子供だけでなく大人も夢中になってクロコムラサキを探しながら森に癒された”“先生に詳しく昆虫の説明をしていただき勉強になった”“とても楽しいプログラムであり、子供達にとって直接学べる素晴らしい機会であった”などの満足していただいた声が沢山ありました。我々愛護会スタッフも高齢化し活動の継続も大変になってきましたが子供や保護者の喜ぶ姿と感謝の声を聴くと今後会員を増やしても活動を継続していきたいと思っています。



沢山の方が参加されました



蝶を追い回す子供達



高橋先生から説明を聞く



環境カウンセラーの伊藤さんも説明



会員から書籍の紹介

理事 安場 博

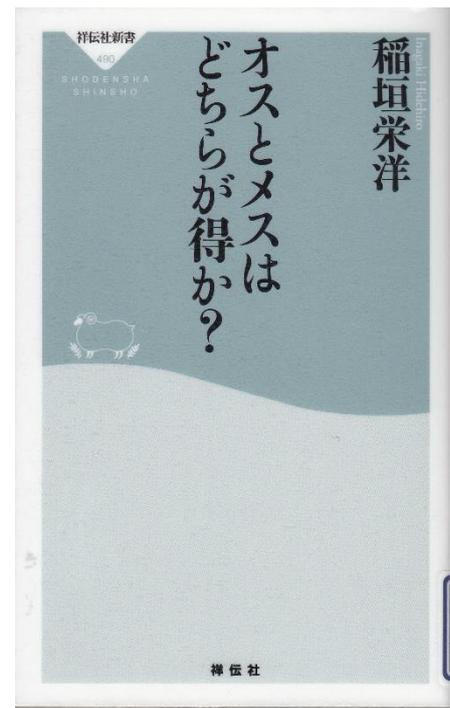
紹介する本は、稲垣栄洋著、「オスとメスはどちらが得か？」祥伝社です。“はじめに”で、「どうして、生物にはオスとメスという性があるのだろうか。本当に不思議である。私たち人間が男と女に苦勞しているのと同じように、生き物たちの暮らしぶりも、オスとメスの存在に相当振り回されている。本書では、そんな悲喜こもごもな、生き物たちのオスとメスの世界に迫ってみたいと思う。」と記載している。

生物にとって最も大切なことは、自らの遺伝子を次の世代へ伝えることと言われており、ほとんどの生物はオスとメスが交わって子孫を残している。遺伝子が混じらずに元の個体をコピーし続けると増殖した個体はすべて同じ遺伝子を持ち、元の個体と同じ性質であり、環境が変化した時などその種が絶滅する恐れがある。一般にはオスの遺伝子とメスの遺伝子が半分ずつ子孫に引き継がれることにより、多様性を生み出している。

生物学的にはオスはメスのために作られたようだ。多くの生物では子供を産むメスが、優れた遺伝子を運んでくれるオスを選ぶ権利を持っている。メスにとってパートナーの質が重要となる。オスは外敵と戦ってメスを守りメスが安心して子孫を残せるようにする。オスどうして戦うこともあり、強いオスを選ばれることになる。だからオスは強さ、体の大きさ、姿の美しさ、声のすばらしさなどでメスに選ばれるように全力を尽くすのである。モテるために命をかけて戦う。これが切なくも美しいオスの美学であると書く。

サケは川で生まれて海に下り、海で育つと再び川に戻って産卵するが、川から海に下らずに川だけで過ごす個体もいる。海で育った個体に比べ川で暮らす個体は小さい。ベニザケやサクラマスが川に留まったものはヒメマスやヤマメと言われている。魚は体外受精であり交尾しない。メスが産んだ卵に精子をかけるだけで良い。川で育った小さなオスがそっと近づき大きなメスが卵を産んだ瞬間に素早く精子をかけて受精させることがあるという。このようにそっと忍び込んですきを見てメスを奪い取ることを生態学では「こそ泥の戦略」とか「間男の戦略」と言っている。またある種の昆虫では、せつかく交尾したのにその後メスが他のオスと次々と交尾したのではたまらない。ギフチョウでは、他のオスと交尾をしないようにある種のタンパク質を分泌し交尾栓という蓋をし、交尾できないようにしたり、カワトンボでは、以前に交尾したオスの精子を掻き出して、自分の精子を入れるという。まさに自らの遺伝子を次世代に伝えるための努力である。

また生物の中には、メスだけの生物、雌雄同体の生物、オスからメス、またはメスからオスへ性転換する生物もいる。オスがいなくてもメスだけで子供が出来ることを生物学では「単為生殖」という。オスがいなくてもメスの卵子から子供が出来ることがあるが、オスの精子から子供になることは絶対にない。こういう生物の行動を調べ研究するには相当な努力を要すると思う。聞くこともできないので何らかの行動をしつこく観察し、その行動の意味を見出すことが必要になる。大変根気のいる研究と思われる。次に生まれるときは男が良いか、女が良いか、さて皆さんはどちらですか？



環境カウンセラー（事業者部門）受験体験記 会員 赤池 宏美

私は、平成理研株式会社でアセスや行政の環境関連の計画策定の支援等、環境に関する業務に携わってきました。環境カウンセラーのことは知っていましたが、自分とは縁遠いものと思っていました。そんな中、エコアクション21審査員を取得し、さらに栃木県環境カウンセラーの会員となりました。そこで、改めて環境カウンセラーについて調べ、令和5年度の環境カウンセラー（事業者部門）を受験しました。

環境カウンセラー（事業者部門）を受験するためには、事業者等を対象とした環境保全に関する活動実績が「5年以上」あることが必要で、幸いにも仕事の中で実績を積んでいたため、実務経験証明書を作成することができました。申込書の作成はスムーズにできましたが、課題論文の作成には手間取りました。課題論文のテーマは「持続可能な社会づくりのための活動計画」で、6つの施策、①脱炭素社会の実現、地球温暖化対策、再生可能エネルギー促進、②生物多様性保全、自然環境保全、③循環型社会構築、④持続可能な開発のための教育の推進、⑤地域循環共生圏、⑥公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全、の中から1つ以上を盛り込まなければなりません。さらに、論文の前段では「私の考える地球・社会における環境問題」、後段では「地域・社会における環境課題に取り組むための私の活動計画」、結論では「環境カウンセラーとしてどのようなことを啓発および推進し、課題解決を目指すか」について記載しなければなりません。論文などほとんど書いたことのない私にとっては、大変な作業でした。途中で何を書いているのかわからなくなってしまい時間がかかりましたが、やっと課題を提出できました。その後、面接試験となりました。面接はオンラインでの実施で、自宅でのオンライン接続の経験があまりなかったのですが、すぐに接続できました。面接は二人の面接官から論文の内容や、なぜ環境カウンセラーになろうとしたのか等の質問がありました。面接では緊張していたため、質問の内容をあまり覚えていません。やっと合格の通知が届いた日は、ほっとしたことを覚えています。

環境カウンセラー登録の流れ(令和6年度の例)

申請受付期間：

7月～ 8月

申請方法：

環境カウンセラーWeb サイトより応募

<https://edu.env.go.jp/counsel/counsel>

選考方法：

実績・資格・経歴、環境保全に関する知識や専門性をいかした提案力やコーディネート力、カウンセリング経験、コミュニケーション能力等、環境カウンセラーとしての適性を申請書、課題論文及び面接にて選考

申請後の日程：

6年10月下旬 書面審査結果通知、面接日程等に関する通知

11月～12月 面接審査

翌年1月下旬 結果通知

4月1日 登録

問い合わせ先：

環境カウンセラー全国事務局

メール：jimukyoku@kankyo-counselor.or.jp

塩山房男前理事長を悼んで

前理事長の塩山房男氏が 2024 年 5 月 22 日に享年 72 歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。塩山房男氏と親交の深い NPO 法人 栃木県環境カウンセラー協会会員の中荻元一氏から追悼のメッセージを頂きました。

ヒゲ塩山氏との出会い

「ヒゲ塩山氏との思い出」「ヒゲ塩山氏を偲んで」

塩山氏との初めての出会いは 2002 年（平成 14 年）那須烏山市の県南那須庁舎でした。私は南那須農業振興事務所の時です。平成 13 年に土地改良法が改正され、各種事業（工事）の実施に際しては「環境との調和に配慮」することが義務付けされた時期でした。その年に那須烏山市の「荒川南部」という 80ha 程度の中山間区域の圃場整備事業が採択され、私どもの部で実施することが決まっていた時でした。ところが肝心の担当課や職員はなにをどうしたらよいか手探り状態の中、上司より指導を命じられ、急拠「生態系保全型水田整備事業」というソフト事業を申請して計画に乗り出しました。その計画には各種環境の専門家のアドバイスをいただきながら進めることになっており、昆虫部門の専門家として「塩山氏」が選定されました。その時初めてお会いしたのですが、その時の言葉が忘れられませんので紹介します。「土地改良には水谷会長と中荻というとてつもない変わり者がいるから近づくな」とのもつばらの評判だ。でも実は俺もそうなんだ、やっと同志を得たようなのでこれから役所もそうだけど、「メダカ里親の会」にも入るからよろしく。と言ったことが忘れられません。で、その後の長いお付き合いになりました。かれの奥様曰く彼は「マグロ」のような人で、いつでも休みなく動かないとダメな人なんです。中荻さんとおんなじですね。と それ以来私どもの会の「コアスタッフ」として、又生き物調査アドバイザーとして各地で喜ばれる「環境アドバイザー」になってくれました。TECAには私の紹介で入会していただき会の理事長まで勤め上げてくれました。本当にご苦労様でした。最後に、生前こんな冗談を言ったことを思い出します。「おれが死んだら三途の川の生きもの調査をするよ」 冗談が現実になり寂しい限りです。多分あの世でも忙しく駆けずりまわっていることでしょう。長い間ありがとう御冥福を祈ります。

会員 中荻 元一



お知らせ

エコアクション21活動支援について

エコアクション21は、環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度です。エコアクション21に取り組むメリットとして、「中小の事業者でも容易に“環境経営”の仕組みが構築でき、運用できる」「二酸化炭素等の排出量を把握、管理し、CO2ゼロにしていく」「環境法令順守等のコンプライアンス管理の徹底を図る」等があります。栃木県環境カウンセラー協会には、12人のエコアクション21の審査員が所属しています。当協会のエコアクション21審査員が、皆様のご要望に応じてエコアクション21の構築・認証・登録と維持活動を支援させていただいております。認証・登録をお考えの事業者様や、すでに認証・登録しているが活動をさらに充実したいとお考えの事業者様は是非、栃木県環境カウンセラー協会へご相談ください。

会員募集！！

栃木県環境カウンセラー協会は、環境省に登録認定の「環境カウンセラー」とその賛同者の集まりで、市民及び事業者に対して、環境改善等に関する事業を行い、環境保全に寄与することを目的としています。

主な事業は、環境問題改善に関するコンサルティング事業、環境に関する講演会・イベント等の企画開催、環境保全に関する助言提言、環境教育支援、会報誌の発行等環境に関する広報などがあります。

当協会では環境カウンセラーや当協会の趣旨に賛同していただける方を募集しています。**特に、これから環境カウンセラーを志す方は、私たちと一緒に活動してスキルアップを目指すとともに、カウンセラー応募のための実績を積み上げましょう。**



表紙の写真（日光白根山）

日光白根山は、栃木県日光市と群馬県利根郡片品村の境界にある標高2,578mの山です。日光火山群の北西端にある活火山で、西方への溶岩流の上に主峰・奥白根などの溶岩ドームが形成されています。火山噴火予知連絡会によって火山防災のために監視・観測体制の充実等の必要がある火山に選定されています。

関東以北では最も高く、周辺に座禅山、前白根山、白根隠山の外輪山を従え、その内側に弥陀ヶ池、五色沼（写真下）の湖沼があります。

深田久弥の日本百名山の一つで、夏になると多くの登山客が訪れます。栃木県側、群馬県側両側どちらからも複数の登山コースがあります。景観にすぐれ、高山植物も豊富なことから、昭和32年に日光国立公園の特別保護地区に指定されています。

7月から8月にかけて登山道を歩くと多くの種類の高山植物を見ることができます。植物のほかにも、イワヒバリ、メボソムシクイ、コマドリなどここに生息する鳥の声を楽しむこともできます。



環境に関するご相談はNPO法人栃木県環境カウンセラー協会へ

◆ 専門家が支援します。下記までお気軽にお問い合わせください。◆

私たちの取り組み

省エネ・公害対策・環境マネジメントへの支援

エコアクション21 取組み指導・支援・普及活動
環境マネジメントシステム(ISO14001 等)の普及・支援・監査活動
各種の環境保全技術の指導・支援並びに企画・情報発信
企業や個人の省エネ対策取組への助言・指導活動
とちぎ環境産業振興協議会活動
エコアクション21 審査員の力量向上策の企画運営



普及啓発活動

環境関係の他団体との交流推進活動
環境政策の検討・提言
行政等を含む他団体主催の各種イベントへの出展
ECU主管事業との協同事業

自然保護活動

自然環境学習の支援に関する企画、指導活動
自然環境保全活動への参加
自然環境保全活動の企画、指導
企業の生物多様性への取組に対するアドバイス及び支援活動
指導者のスキルアップ研修の実施



これから環境カウンセラーを目指す方へ

NPO法人栃木県環境カウンセラー協会では、環境カウンセラーや本会の趣旨に賛同していただける方を募集しています。特に、これから環境カウンセラーを志す方は、私たちと一緒に活動してスキルアップを目指すとともに、カウンセラー応募のための実績を積み上げましょう。

編集・発行 NPO法人 栃木県環境カウンセラー協会 (TECA)

URL : <https://tecahp0419.bizmw.com>

連絡先 〒320-0051 宇都宮市上戸祭町 691-4

TEL : 080-6543-8823 E-mail : yr3110.kamito@gmail.com

